

一学年だより

No. 15

令和6年 1月 9日
太宰府市立太宰府西中学校
文責：江崎 彰泰

あけましておめでとうございます

～「夢」をもち、できることから始めよう～

令和6年(2024年)が始まりました。新しい年を迎えると、新鮮な気持ちになり、やる気が湧いてきます。

新年早々、能登半島地震により多くの命が奪われ、今なお多くの行方不明者の捜索が行われています。自然災害の恐ろしさと同時に命の大切さを改めて実感させられます。行方不明者の早期発見と被災地域の復興を祈るばかりです。



さて、これからの3ヶ月は、1年生の学校生活を締めくくる大切な時間です。まずは、「あいさつ」「掃除」「時間や約束を守る」「忘れ物をしない」「授業に集中する」「宿題を丁寧にやる」など、やるべきことをきちんとする人になりましょう。そして、「できるようになったこと」「努力していること」を自信をもって継続していきましょう。

また、反省して見つけた課題を「あのとき、ああしていれば」とか「あのとき、こうしていたら」と後悔するのではなく、「この次はこうしよう」と考え、行動してみるのです。そうした行動の積み重ねこそ、成長(課題の克服)につながります。

1年生の残りの1日1日を大切に過ごしてほしいと願っています。

私たちは、自分の思い通りにならないことを、他人のせい、環境のせいにしてしまうことがあります。そして、まわりに期待して、いつも裏切られ、不満を言ってしまう。不満をいくら言っても、何も解決しないことはわかっている。人は、夢がなくて、本気になれないとき、他人のせいにするものです。

限界を作ることができるのは、自分だけです。夢をあきらめることができるのも、自分だけです。自分があきらめない限り、夢が私たちをあきらめることはありません。夢はいつまでも、私たちがやってくるのを待ち続けてくれるのです。

大切なことは、心配することではなく、自分がこれからどうしたいか、どんな人生を送りたいのかを考えることです。つまり、夢を持つことです。

苦しんだことが、いろいろなことを気づかせてくれます。苦しむときには、苦しんでもいい。悩むときには、悩んでもいい。

苦しみや悩みの中に、必ず未来への道があります。それを見つけるためには、苦しみや悩みから目をそむけるのではなく、それらを受け止めて、その意味を考えましょう。夢につながる道が、必ず見えてくるはずですよ。

人は、一人では弱い生き物です。でも、本当に信頼できる仲間がまわりにいれば、どんな苦しみでも耐え抜いていくことができます。

自分が今、どのような環境でどのような生活をしていたとしても、誰でもその状況の中で夢を持つことができます。

そして、夢を仲間と共有することができたとき、私たちはどんなにつらいことであつたとしても、それに耐え、どんなに大きな壁であつたとしても乗り越えることができるようになります。

その先で待っているのは、大きな達成感と感動の涙なのです。

福島 正伸著『仕事が夢と感動であふれる5つの物語』より

自分が今いる場所でチャンスをつかむことができると信じている人は、どこにいても何かをなしとげられる人です。今住んでいるところで、人の役に立ちなさい。学校の中で手伝ったり、道路を清掃したりして、人々に幸せを与えなさい。そうすれば、どこにしようが、あなたはりっぱな人になれるでしょう。反対に、今いる場所で何もできない人は、どこに行っても偉大な人物にはなれません。

あなたが今いる場所で、今のあなたのままで、できることから始めてください。

ラッセル・コンウェル著『ダイヤモンドを探せ』より

一人なら、自分の思い通りにススイできます。でも、それは一人分です。一人でできないことは、一緒にやってくれる人を見つけなければなりません。そんな人を見つけるのは難しいし、見つかっても自分の思うようにはならない。それでも投げ出さずに、人とかがかかわり続けることで、一人ではできないことができる。本当の仲間ができていきます。

植松努著『「どうせ無理」と思っている君へ』より

素晴らしい一年になりますように！

学年で大切にしたいこと

「あいさつ」は、自分を変える。自分が変われば周りの世界が変わる

「あいさつ」とは、相手の存在を認め、相手に対して自分の心を開くことです。「自分から」「相手の目を見て」「大きな声で」「笑顔で」あいさつを心がけていきましょう。

「掃除」は、「心」もきれいにできる

一生懸命掃除をすると、今まで気づかなかった汚れやゴミに気づけるようになり、いろんなことに「気づく目」ができてきます。「気づく人」になれば、周りの人も気持ちよく穏やかに過ごすことができます。ゴミ拾いが他の人の小さな幸せにつながります。

「素直」は、人をどこまでも成長させる

素直な人は、うまくいかないときも、「そのことは何を自分に教えてくれているのか」と考えることで自分を高め、成長する時間にすることができます。素直な人は、どんな人からも何かを学ぶことができます。

「感謝」は、自分だけでなくまわりの人も幸せにする

人は、誰一人として一人で生きてゆくことはできません。自分が気づかないところでも、誰かが自分を支えてくれているから毎日を送ることができるのです。自分と出会うすべての人や出来事に感謝し、できるだけ多くのことに「ありがとう」を言いましょ。

「想像力」は、夢もやさしさも広げる

いつも「相手の気持ち」と「自分の将来」を想像しながら生活しよう。

保護者のみなさまへ

新年を迎え、1年生としての生活も残すところ約3ヶ月となりました。

寒さも本番を迎え、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザへの感染が心配されます。体調管理が何よりも重要ですので、ご家庭でのご指導をお願いします。

今年もよろしくお願いたします。